

いしかわニュースーパーハイスクール講演会

平成26年10月29日

講師 江端康行 氏

外務省 アジア大洋州局南部アジア部 南西アジア課 課長補佐

演題 「私の外交：ロボット、サッカー、平和構築」

江端氏は、外交官としてこれまでご自身が関わられた取組について、その時々の様子や思いを、写真を交えながらお話してくださいました。国際社会の最前線で活躍されている方の貴重なお話に魅了され、生徒は熱心に耳を傾けていました。



異なる背景や文化を持つ国や人々に「伝える」外交がしたいという考えをお持ちで、チェコで人間型ロボットを使って日本の技術を紹介したエピソードや、イラクのサマーワで給水車にマンガのキャラクターを描き、現地の子どもたちのために奮闘されたご経験などを語ってくださいました。

ご講演後、生徒からは「海外生活の中で文化の違いから苦勞することはありますか」、「日本国憲法第9条改正についてどう考えますか」等の質問があり、江端氏は一人一人の声に丁寧に答えてくださいました。また、講演会終了後、人文科学コース代表生徒と新聞部員、放送部員との懇談や取材にも応じていただきました。

(生徒の感想)

・一番印象に残っているのは「貢献しても伝えなければ意味がない」ということです。誰かのために何かをしても、相手に伝わっていなければ、何もしていないのと同じだと聞いて、確かにそうだと感じました。

・外務省の方々は、日本と相手国との間にある様々な難しい問題を解決するために、アシモやサッカーなどあまり外交と関係なさそうに見えるものをうまく利用し、交渉などをスムーズに進める努力をされていることを初めて知りました。全く考え方が違う国との交渉でもこのような手段で友好的に話しが進められているのがとても素晴らしいと思いました。

・一番印象に残ったのは子どもたちのためにキャプテン翼の著作権問題で苦勞されたという話です。子どもたちのために色々な人たちが関わって成し遂げられたというのが素敵なお話だと思いました。

・外務省の方が2人も亡くなっているということを知り、思っていた以上に危険な仕事もされていることが分かりました。平和な世界にするために仕事をさせていただいて、すごくありがたいと思います。